

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL <052> 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX <052> 916-2308

2008.9.10
9.25
No.971

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

自治体にはたらく職員の メンタルヘルス研修会

とき 10月24日(金) 午後2時～
ところ 金山「労働会館」

◎どなたでも参加できます。お近くの役員へひと声を



上・40mにわたり決壊した広田川
下・清掃ボランティアをする幸田町職労の仲間

町民の、ありがとう、がはげみ

幸田町 職 労

南から非常に湿った空気が流れ込み、東海地方では、8月28日午前から深夜にかけて記録的大雨となった。幸田町では午前1時～2時の間に110ミリを超え、菱池地区の広田川が40メートルにわたって決壊。その後から被災住民の支援にとりくんだ幸田町職労の仲間たち取材しました。

幸田町役場では、29日0時6分に災害対策本部が設置された。町内では行政防災無線が各戸に配置されており、ただちに避難勧告が住民に周知された。記録的な豪雨に

より、川はみるみるうちに増水、大被害が予測されるため、全職員に非常招集指示が午前2時8分に本部から出された。この時点でも大雨が降り続き、しかも真夜中の招集

でもあり、職員の出勤経路の安全は確保されておらず、また、初めての全員招集で、職員からは、「緊張と不安でいっぱいだった」との声も出た。それを裏付けるようにこの日の招集では、出勤途中に職員の車4台が水没。

現場第一で 迅速に対応 環境課では、被災地域の消毒作業やゴミ収集などにあたっている。



緊張と不安のなか出勤

2008年8月末豪雨

「自治体職員として、災害での招集は当たり前ですが、やはり残った自分の家族や家のことも心配」とある職員は語る。

招集をうけ、職場は緊張とあわただしさでこたえたが、土木課は、午前1時半に招集。はじめにおこなったことは道路河川の確認、状況調査と監視にあたった。決壊した箇所を確認のために現場へ向かったが、どこ

の道路が冠水しているかわからず、現場へ行くまでにかなりの時間を要した。

健康福祉部では、避難対応や避難所の開設にあたった。地元の集会施設が避難所になっているので、地元の総代さんに集会所のカギを開けてもらえるように連絡し、必要な備品を準備して、3時すぎに職場を出た。避難所についたとき、14人のかたが避難していた。健康相談もはじまった。

取材した9月4日、土木課では災害箇所への復旧と危険箇所の確認に飛び回っていた。職員が作業をしていると、住民から「いつ通れるようになりますか」と聞かれる。環境課では1度消毒しても、雨が2度3度と降るので新たに消毒してほしいという要望も出ていた。

不安をとりのぞいてあげたい 「被害に遭われた住民の方

はとても不安をもってきます。消毒よりも不安を取り除いてなんとかしてあげたい」という気持ちを大切に活動をしたと話します。「消毒したあとは住民のかたから、ありがとう」と言ってもらえて、こちらもはげまされました」と笑みをみせます。

「消毒をしてもらえることを知らない住民がたくさんいる。どうみんなに周知していくか。情報を整理しながら漏れないように対応することも大切」と振り返り、「現場の状況や、ゴミがこれだけ出た、どういう対応をしたなど、自分の経験だけでなく、目で見える記録として残すことが重要」と話し、「災害は長引くので、協体制の確立・検討が必要」、「自分たちがこういう時にきちんと対応し、手助けするのが私たちの仕事」、「刈り入れ前に被害にあった農家は大変です。対応していく中で、そこから住民の要望がでくるのでしっかりと対応したい」と話してくれました。

9月6日と7日、ほぼ全職員が清掃ボランティアに参加し、農道や水路などの清掃活動に入りました。「日常業務に加えて、災害対策もあるので大変ですが、どう住民の要望に応えていくのか、応えられるのか、自治体労働者の役割として、住民のために力を発揮していきたい」と山本委員長は語ってくれました。

「被害に遭われた住民の方

「言いたい劇場」

小菅りや子



大きな安心
自治労連共済

全労連東海北陸ブロックのサマーセミナーが9月13日〜15日にかけて、大府市のあいち健康プラザで開催さ



2日目は高校の先生、N

行いました。第2分科会

誓い合いました。

れ、7県から1000人の青年が参加しました。初日の学習会は「働くってなあに」と題して名古屋市職労の山岡弘和さんが講演。歌を交えながら、働くことの意義と権利について語り、グループ討論がおこなわれ

ました。その後、3つの分科会に分かれ、平和学習では愛知県内の基地や平和施設をバスでめぐるツアーを

行いました。第3分科会では恋愛をテーマに討論。第3分科会では調理実習を行いながら食の大切さを学びました。

安心・安全の介護サービスを 第10回あいちに働くホームヘルパーのつどい

9月7日、第10回あいちに働くホームヘルパーのつどいが名古屋市中・国際会議場で開かれ、全県から60人の方が参加しました。基調報告をしたヘルパー部会の大田さんは、「利用者は生活援助で利用制限され、介護労働者は賃金・労働条件が悪くなっている。利用者に安心・安全の介護サービスを提供し、専門的な知識と技術を備えたヘルパーの確保と労働環境の整備が大切」と訴えました。

「認知症とその介護」「ヘルパーの交流、現場の問題点」など3つに分かれて、学習・討論しました。



午後からの分科会では、

賃金・手当など改善もとめて 県人事委員会へ要請行動

9月10日、県の人事委員会勧告を前に、愛知県本部と愛知公務共闘など3団体が共同して、愛知県人事委員会を要請を行いました。

はじめに民間調査対象の事業所（特に100人未満の企業）について質問。「100人未満の事業所も抽出した結果、微増となった

抽出企業を操作して「地域手当の考えについて」「05勧告時の考えは変わっていない。一律支給の是非、支給割合など研究している最中であり、まだ結論は出ていない」との回答に対して、「05勧告時の考えを堅持せよ」と強く要請

しました。住居手当の見直しについては、「自宅居住者が多いことは理解している。しかし、総務省が住居手当の支給対象について解釈を変えることも考えられ、そうなると県ではどうしようもない」としたため、国と自治体の実態が異なる、追いつかないよう要請。

長時間残業の問題やメンタルヘルス対策を講じるよう要請しました。

「あなたの組合加入が 要求実現の道」

組合加入キャンペーン 標語大募集！

秋の組織拡大月間（10月～12月）にあたり、組合未加入者の加入運動を広げます。みなさんから「組合加入キャンペーン標語」を大募集します。採用作品は、「あいちの仲間」に掲載し、賞品をプレゼントします。応募は県本部組織部まで。ペンネームも可、10月末までに。

全国野球大会へ！ 豊橋市職労チーム まずは初戦突破！

8月31日、東海北信ブロック野球大会が開催され、5対0で豊橋市職労チームが静岡を破り優勝、10月に大阪で開催される全国大会に出場します。



優勝した豊橋市職労チーム

内藤政宏監督は「去年、全国大会に出場を果たしましたが、雨天のための抽選負けで悔しい思いをしました。今年は、良い試合をして初戦突破をめざします」と意気込みを語っています。

単組定期大会 役員紹介

- 宮田用水（8月29日）
- 執行委員長 富田 眞司
- 副委員長 水野 篤史
- 書記 後藤 篤志
- 計 三輪 和義

- 清須市職労（9月3日）
- 執行委員長 岩田 広美
- 副委員長 藤田 佳代
- 書記 岡部亜由美
- 書記 長 中村 博典
- 書記 長 杉浦 孝広
- 中水労（9月4日）
- 執行委員長 小島 千明
- 副委員長 高津 桂一
- 書記 長 加藤 智子
- 書記 長 石川 忍
- 岩倉市職（9月10日）
- 執行委員長 岡 茂雄
- 副委員長 中村 定秋
- 書記 長 小川 薫
- 書記 長 佐久間喜代彦
- 書記 次長 堀 巖
- 計 竹井 鉄次

おたのしみ プレゼントつき クイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード（10000円分）を贈呈します。

〒462-10845
名古屋市中区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは10月31日必着。ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

クロスワードパズル

1	2	3	4	5
6				
		7		8
9			10	
		11		12
				13
				14

【ヨコのキー】①明治初期の汽車の俗称 ②おじいさんは山へ——に ⑦心機—— ⑨そっくり。〇〇二つ ⑩

【タテのキー】①もよう ② ③——放送の予告 ④取引所で大引けの対語 ⑤合縁—— ⑥金は——の回り物 ⑦冷や〇〇をかき ⑧緊張感がなく〇〇が緩む

①地獄の沙汰も〇〇次第 ④購入の際なるべく——のいらぬよう願います

出題 NARON